

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	HD-GEM+Bu+Mel
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	自家造血幹細胞移植における移植前処置
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Auto-008
登録日・更新日	2019年8月27日
削除日	
出典	Lancet Haematol. 2017 ;4(6):e283-e292. ブスルフェクス点滴静注用60mg添付文書 アルケラン静注用50mg添付文書
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ゲムシタピン塩酸塩 (ゲムシタピン点滴静注用)	200 mg、1000mg	75 mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他( )	全開	day -8, -3
	生理食塩液	100 mL				
No.2	ゲムシタピン塩酸塩 (ゲムシタピン点滴静注用)	200 mg、1000mg	1800 mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他( )	10 mg/m <sup>2</sup> /min	day -8, -3
	生理食塩液	250 mL				
No.3	ブスルファン (ブスルフェクス点滴静注用)	60 mg	3.2mg/kg	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他( )	3時間	day -8 ~ -5
	5%ブドウ糖液					
No.4	メルファラン (アルケラン静注用)	50 mg	60 mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他( )	30分	day -3, -2
	生理食塩液	250 mL				

1コースの期間	
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( 日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【開始基準】 Ccr ≥ 50mL/min AST ≤ 100IU/L、ALT ≤ 150IU/L、総ビリルビン ≤ 3.0mg/dL EF ≥ 40%
前投薬	抗5-HT3制吐剤 + デキサメタゾン + アプレピタント BU投与中: 抗痙攣薬(バルプロ酸、フェニトインなど)
その他の注意事項	<VOD/SOS予防> ダルテパリン 75U/kg day-7~28 ウルソ 1回300mg 1日2回 po day-7~移植後3ヶ月まで  ・末梢血幹細胞の輸注はメルファランの投与後24時間以上経過してから実施する。 ・メルファランの投与前日から投与終了後24時間は、水分補給及び利尿剤の投与を行い十分な尿量を確認すること。 なお、補液量は2,000mL/日以上、確保すべき尿量は100mL/h以上を目安とし、患者の年齢及び状態を勘案し調整すること。 ・アルケラン静注用を希釈する場合は100ml以上の日局生理食塩液を用いること。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	成田 健太郎